

IX 国際

1 政策方針決定過程への女性の参画

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が独自に算定した男女格差を図る指数G G I（ジェンダーギャップ指数*）では、2014年日本は142か国中104位であり、特に経済及び政治の分野において、遅れが目立っています。

就業の分野では、就業者の女性割合は他国と比べほぼ同じ水準ですが、管理的職業従事者の女性割合は、他国が3～4割に対し、日本と韓国は1割程度に留まっています。

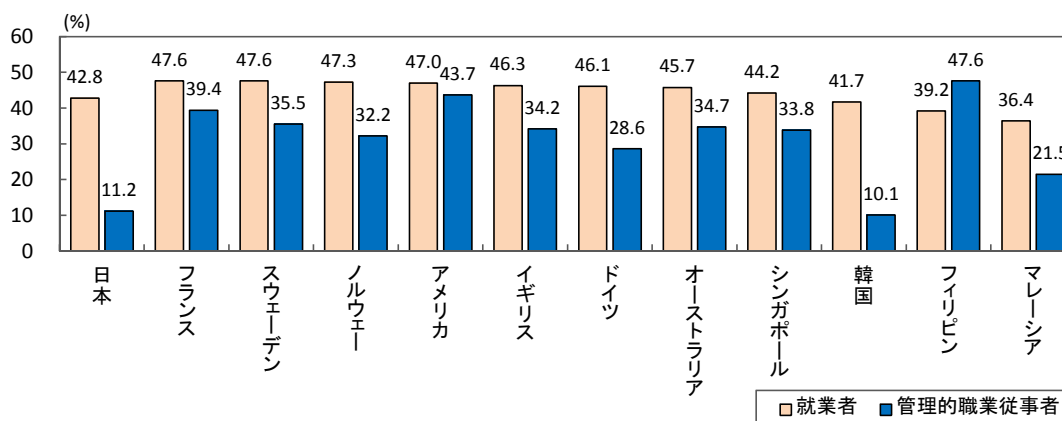
図表88 ジェンダーギャップ指数

2014年の順位	国名	総合スコア	経済	教育	健康	政治	2013年
1	アイスランド	0.8594	0.8169	1.0000	0.9654	0.6554	1
2	フィンランド	0.8453	0.7859	1.0000	0.9789	0.6162	2
3	ノルウェー	0.8374	0.8357	1.0000	0.9695	0.5444	3
4	スウェーデン	0.8165	0.7989	0.9974	0.9694	0.5005	4
5	デンマーク	0.8025	0.8053	1.0000	0.9741	0.4306	8
6	ニカラグア	0.7894	0.6347	0.9996	0.9796	0.5439	10
7	ルワンダ	0.7854	0.7698	0.9289	0.9667	0.4762	-
8	アイルランド	0.7850	0.7543	0.9979	0.9739	0.4140	6
9	フィリピン	0.7814	0.7780	1.0000	0.9796	0.3682	5
10	ベルギー	0.7809	0.7577	0.9921	0.9789	0.3948	11
12	ドイツ	0.7780	0.7388	0.9995	0.9739	0.3998	14
16	フランス	0.7588	0.7036	1.0000	0.9796	0.3520	45
20	アメリカ	0.7463	0.8276	0.9980	0.9747	0.1847	23
24	オーストラリア	0.7409	0.8010	1.0000	0.9737	0.1887	24
26	イギリス	0.7383	0.7140	0.9996	0.9699	0.2698	18
36	オーストリア	0.7266	0.6704	1.0000	0.9789	0.2573	19
59	シンガポール	0.7046	0.7899	0.9413	0.9671	0.1201	58
87	中国	0.6830	0.6555	0.9855	0.9404	0.1506	69
104	日本	0.6584	0.6182	0.9781	0.9791	0.0583	105
117	韓国	0.6403	0.5116	0.9648	0.9730	0.1117	111

資料出所：世界経済フォーラム「The Gender Gap Report 2014」

* 経済分野、教育分野、健康分野及び政治分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味する。

図表89 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合



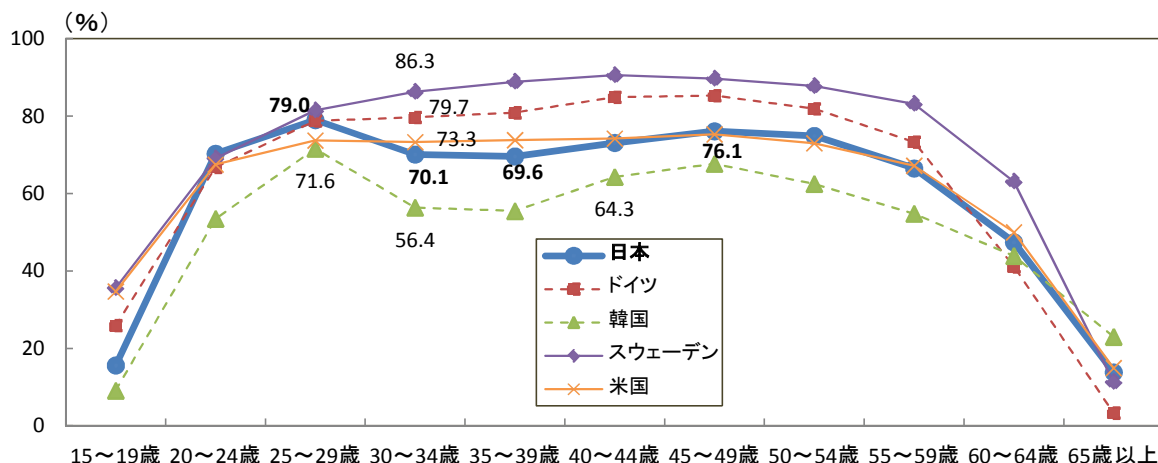
資料出所：内閣府「男女共同参画白書」(平成26年6月)

- (備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」(平成25年)、独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2014」より作成。
 2. 日本は平成25年度、その他の国は2012(平成24)年のデータ。
 3. 総務省「労働力調査」では、「管理的職業従事者」とは、就業者のうち、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等をいう。また、「管理的職業従事者」の定義は国によって異なる。

2 就業の分野における男女共同参画

日本では依然として結婚、出産、子育て期に就業を中断する女性が多くおり、これをいわゆる「M字カーブ*」といいます。同様のM字カーブが見られる国は韓国以外にはありません。

図表90 女性の年齢階級別労働力率の国際比較



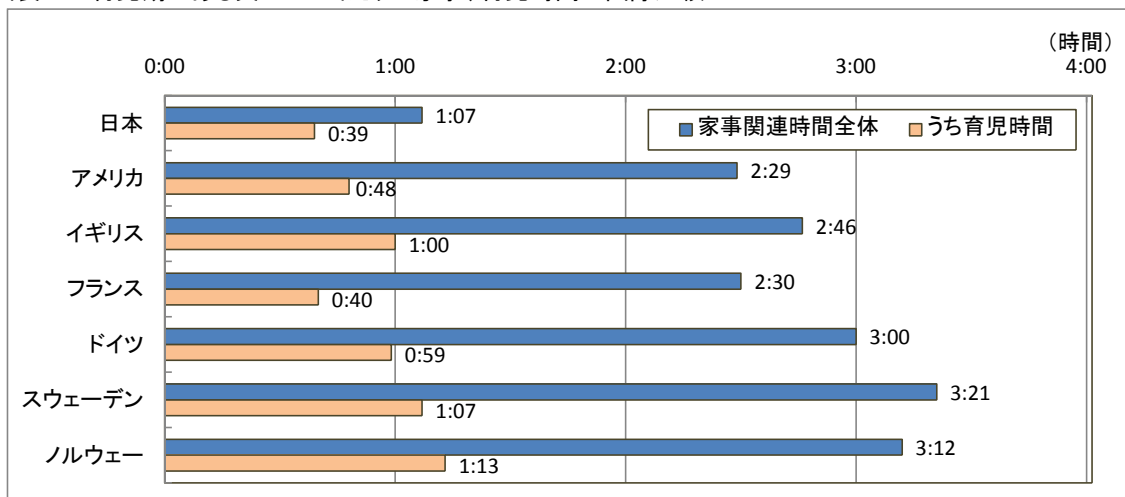
資料出所: 内閣府「男女共同参画白書」(平成26年6月)

- (備考) 1. 「労働力率」は、15歳以上人口に占める労働力人口(就業者+完全失業率)の割合。
 2. 日本は総務省「労働力調査(基本集計)」(平成25年)、その他の国はILO「ILOSTAT」より作成。
 3. 日本と米国は2013(平成25)年、その他の国は2012(平成24)年の数値。
 * 日本の女性労働力人口比率を年齢階級別にグラフ化したとき、30歳代を谷とし、20歳代後半と40歳代後半が山になり、アルファベットのMのような形になる。

3 家庭における男女共同参画

我が国の男性が家事や育児に費やす時間は、世界的にみても最低の水準です。

図表91 育児期にある夫の1日当たりの家事、育児時間の国際比較



資料出所: 内閣府男女共同参画局

- (備考) 1. Eurostat「How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men」(2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S.「America Time-Use Summary」(2013)及び総務省「社会生活基本調査」(平成23年)より作成。
 2. 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の「家事」、「看護・介護」、「育児」及び「買い物」の合計時間である。